

よさみつうしん

No.2

平成 29 年 5 月 2 日



青空を見上げながら、心地よい風を肌で感じながら、園庭を元気いっぱい走り回る子ども達。虫やカエル、たんぼぼ、チューリップを見つけては、いつの間にか、子ども達の輪ができています。4 月に見せていた涙がいつの間にか笑顔にかわりつつあります。この季節、この青山の自然が、子ども達の心を和ませてくれているように思います。少しずつ、幼稚園での生活や遊びの楽しさも感じてきているようです。

そこで迎えるゴールデンウィーク。家族で出かけたりされると思いますが、くれぐれも事故やけがないよう楽しい休日をお過ごし下さい。又、あちこちへ遊びに出かけ、サービス過剰にならないよう、子ども達が疲れないう気を付けましょう。さわやかな季節とはいえ、気温の差が激しい時です。園では、急な発熱でお休みの子どもも増えています。体調にも気をつけながら、楽しい連休をお過ごし下さい。また、少し幼稚園の話題もしつつ、連休明けスムーズに園生活に戻れるよう、保護者の方のご協力もよろしくお願いします。



幼稚園での、子ども達の様子は、ホームページに随時アップしています！是非、ご覧下さいね。



「自分」を出し始めました！！

新年度から 1 カ月。園の様子も新しいクラスもわかりはじめ、徐々に『自分』を出し始めた子ども達です。年度当初は、お友だちの事は何も話さなかったのに、最近になって、「〇〇ちゃんと遊んだ」「〇〇ちゃんと喧嘩した」「幼稚園で口はしたいけど、△△はしたくない」等色々話し始めてくれているようです。これは、色々なかたちで『自分』を出し始めている証拠です。時には、「わがまま」ととられがちですが、それによって子ども達は、さまざまな判断基準を獲得し、自己を形成していきます。

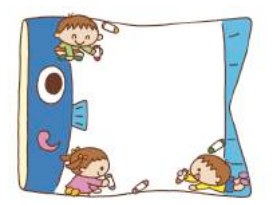
子どもの成長において、一見わがままに思える「自分を出す行動」をしっかり経験していくことが大切です。そして私たち大人には、各段階で現れる行動を受け止めながらも、いけないことはきちんと伝える姿勢が大事です。中でも大切なのが、3 歳前後から獲得される「好き」という判断基準。好きな子ができると、その子と一緒に同じことをしたがるようになります。「好き」という気持ちが「個性」を作り、好きなものに向かう集中力や持続力が、人をつなげていきます。幼児期にこの「好き」をたくさん獲得することで、その後の知能や社会性の発達に大きく影響してきます。私たちは、「〇〇が好きなんだね」と言葉にして、子ども自身、「この感情が“好き”ということなんだ」と意識できるように関わっています。



1 歳児のちゅーりっぷ組さんも、園庭をお散歩しています。鯉のぼりを持つ、お兄ちゃん、お姉ちゃんのそばに「みせて～」と興味津々です。



今日は、幼稚園では、こどもの日のつどいをしました。それぞれの年齢にあわせて製作した鯉のぼりを手に、園の玄関に泳ぐ大きな鯉のぼりの前に、みんながあつまりました！子ども達がいつまでも健康で、立派に成長してほしい思いでいっぱいです。



2 号・3 号認定の方は、登園・降園時、1 階マミールーム前のタイムレコーダーで、保育利用カードの打刻を忘れずお願いします。